

【児童へのお話】

今日は、1年間の学習や生活のまとめの日です。皆さん、毎日よく頑張って学校に来ましたね。皆さんはこの3月いっぱいまで、縦割り班活動を中心に、優しさを分け合い、できることを最大限頑張ろうとする、ステキな姿を見せてくれました。

今から、自分の1年をふり返ってみましょう。みなさん、目を閉じて、校長先生の問いかけを心で聞いて、考えてください。手は挙げないでいいです。始めますので、静かに目を閉じましょう。

この1年を、心の中で思い出し、一日ひとつ、学習や活動がんばって、自分が「すすんで考える子」になれたと感じたことがありますか？

この1年を、心の中で思い出し、一日ひとつ、人のためになることをして、自分が「明るく思いやる子」になれたと感じたことがありますか？

この1年を、心の中で思い出し、一日ひとつ、苦手なことにも諦めずにチャレンジして、自分が「強くたくましい子」になれたと感じたことがありますか？

目を開けてください。さあ、いかがでしたか？まず、自分はできていたと思えたことを大切にしてください。それは、皆さんの1年間の努力の成果です。次に、自分はできていなかったと思ったことを確かめてください。それは、もうすぐ始まる、4月からの課題です。

今日、皆さんがもらう通知表を、校長先生は全員分読みました。皆さんがよく頑張ったことが書かれています。担任の先生からの今年度最後のお話だと思って、しっかりと読んで確かめてください。

それでは、今日のお話の最後に、先生から落五小の皆さんに、言葉を贈ります。歴史上一番偉大な劇作家と言われている、ウィリアム・シェイクスピアの残した、とても意味の深い、次の言葉です。

「時（時間）というものは、それぞれの人間によって、それぞれの速さで走るものだ。」

落五小の皆さんは、それぞれ、ステキな力をもっています。その力がグリーンと伸びて表面に出てくるのは、明日かもしれません。1年後かもしれません。5年後、10年後かもしれません。時間は平等です。いずれ来るそのときを待ち、毎日ひとつずつの努力を重ねられる、校長先生の大好きな落五の子でいてくれることを、心から願っています。

1年間、よく頑張りました。4月からも、ステキな皆さんでいてください。

【本講話について】

明日の卒業式を残し、あっという間の1年間が終わります。日々、子どもが大きく成長できるよう、本校教職員は力を尽くしてきました。子どもたちと、時には一緒に笑い合い、時には気持ちやすれ違いながらも、「すすんで考える子」「明るく思いやりのある子」「強くたくましい子」を育てるべく頑張ってきた本校の教職員を、手前味噌ですが、私は心から褒めてあげたいと思います。

私自身、保護者の皆さま、地域の皆さまはもちろん、教職員や何よりも子どもたちの笑顔に支えられ、気持ちよく学べる1年間となりましたことに、感謝申し上げます。次年度も落五の子の成長のため、様々な協力くださいますよう、お願いします。